

〔第3回〕

NCGG-RI 研究発表会

National Center for Geriatrics and Gerontology, Research Institute

唾液腺の老化

老化機構研究部 代謝研究室

山越 貴水 室長

2015年11月10日(火) 16時00分～
第1研究棟2階大会議室

唾液腺は、口腔内へ唾液を分泌する役割を担う組織で、口腔内環境を整えるだけでなく、外界からの異物が生体内へ侵入するのをブロックすることで生体防御の役割を果たす。しかし、老化により唾液腺機能が低下すると分泌唾液の量の減少などによって高齢者の多くは口腔乾燥症状を示すようになる。

私達は、老化により衰える唾液腺の生理機能を分子メカニズムから理解することを目指しており、これまで生体内イメージング技術を用いた解析から、その一端を明らかにすることが出来た。今回、新たな知見を得たので、それについても併せて紹介したい。

唾液腺老化の全体像を明らかにすることで、不明な点の多い口腔乾燥症発症の分子機構に迫れる可能性がある。

座長：橋本 有弘